

令和２年度第１回多治見市生活支援体制整備推進会議議事録

日 時：令和２年７月２２日（水）

10:00～12:00

場 所：多治見市役所 駅北庁舎４階大ホール

出席： 高木浩二会長、浅野みな子副会長、森内佐和子委員、竹内寛委員、加藤一一委員、林計男委員、林正勝委員、各務晴夫委員、若尾卓男委員、松村三千代委員、原田昭男委員、吉川幹委員、田中信次委員、青木鎌太郎委員、唐木頼子委員、羽根田真理子委員、水野磨意子委員、松岡由佳子委員、森節子委員、棚瀬民依委員、今井光春委員（順不同）

欠席： なし

事務局：鈴木福祉部長、山崎高齢福祉課長、三宅高齢者支援グループリーダー、小坂

事務局 定刻になりましたので、ただいまより令和２年度第１回多治見市生活支援体制整備推進会議を開会いたします。本日は、大変お忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。委員長が互選されるまで、事務局で司会進行させていただきます。はじめに会議に先立ちまして、福祉部長よりごあいさつを申し上げます。

福祉部長 ～あいさつ～

事務局 ～資料の確認、本日配布資料の確認～
また本日の会議は、多治見市情報公開条例に基づいて、非公開とする理由はありませんので、公開とさせていただき、議事録につきましては、事務局で取りまとめの上、委員の皆様にご確認いただいてから、委員名は公表せずにホームページで公開させていただきます。
続いて 次第１ 委員自己紹介。

委員全員 ≪委員の自己紹介≫

事務局 続いて 次第２ 会長・副会長選任です。
選出方法は委員の中から互選となっておりますが、どなたかご推薦はありますか。推薦がなければ事務局案を提示させていただいてもよろしかったでしょうか。
～推薦なし～
会長には多治見市社会福祉協議会の高木委員に、副会長には根本地域福祉協議会の浅野委員とさせていただきますが、よろしかったでしょうか。
～異議なし～

	これより先の進行は、会長にお願いいたします。
会長	～会長あいさつ～ 次第に沿って進めていきます。「次第 3 生活支援体制整備とは」を事務局から説明してください。
事務局	～「生活支援体制整備とは」 事務局説明～
会長	事務局から、協議体やコーディネーターの定義、協議体の配置状況について説明いただきました。ご意見よろしいでしょうか。 ～意見なし～ 続いて、「次第 4 生活支援コーディネーターの活動予定」です。森内生活支援コーディネーターから説明してください。
委員	～「生活支援コーディネーターの活動予定」 生活支援コーディネーター説明
会長	委員のみなさんご意見ございますか
委員	地域つながりプロジェクトは、地域が行っているサロンで話してもらうことは可能でしょうか。
委員	可能です。
会長	他にご意見はよろしいでしょうか。 「次第 5 第 2 層協議体の進め方について」生活支援コーディネーターから説明してください。
委員	～「第 2 層協議体の進め方について」説明～
会長	ご意見、ご質問はございますか。 包括支援センターから、具体的にここまで進んでいるなどご意見いただければと思います。
委員	昭和小学校区は土岐川で分断されており、校区全ての方と一緒にすることは難しく、現在は各地域の活動について情報収集しています。自治会と協力しながら進めていく予定でしたが、コロナウイルス感染拡大の影響で会

議が開催でなくなりました。今後、コロナウイルスが終息すれば、8月から開始したいと思っております。

委員

養正地域では養正地域福祉協議会と連携して、第2層協議体として活動しております。地域へのアンケートを参考に、地域課題の抽出の話し合いを行いました。その中で、男性のサロンへの参加が少ないとある中で、男性でも参加しやすいグランドゴルフを活動としたサロンが立ち上がりました。1区ではあいのりタクシー事業も始まりました。

また、養正地域では認知症の講座を進めたいと思っております。

滝呂地域では、新しくサロンが1ヶ所立ち上がりました。滝呂地域力向上実行委員会が立ち上がり、11月に地域全域でのお祭りの開催を予定しております。地域の人と人とのつながりが増えていけばと思っています。

委員

根本地域では、ふれあいねもとと第2層協議体として日々の活動の報告や、生活支援サービスの情報共有などを行っております。

南姫校区では30区の福祉委員会に毎年参加しております。民生委員と福祉委員で見守りマップを作成し、独居、施設入所など地域の情報を共有させていただいています。

今年は、町内会に入っていない方が亡くなっていた事件もあり、民生委員や地域の方も見落としてしまっていたこともあり、見守り対象の漏れがないように、福祉委員、民生委員と一緒に高齢者宅に訪問しようと考えております。

委員

笠原地域では第2層協議体であるAAK（笠原安心安全快適推進会議）にて毎月会議をしております。

笠原地域社協と共催で、老後の不安を語る会を開催し、いろんな意見をいただきました。

笠原地域の移動販売場所などの地域資源マップを全世帯に配布するために、協議しております。

笠原地域社協が中心となって、笠原町悠光クラブ連合会、民生委員などと、地域の支え合い活動について話し合う笠原校区支え合い会議に引き続き参加する予定です。草取りとゴミ出しについて活動が決まり、現在はボランティア募集や要綱のために、他の地域と情報交換して進めております。

市之倉地域では、昨年度末に開催予定でしたが、コロナウイルス感染拡大のため中止となりましたが、開催が伸びてこれから開催する場合に出席して、話し合いができればと思います。

委員

共栄地域では共栄地域社協と包括は連携を取っており、第2層協議体とし

て進めてまいります。

精華地域では 3 月開催予定の区長、福祉委員長の参加する福祉会議が中止となりましたが、今後はコーディネーターの助言を受けながら進めていきたいと思います。

委員

北栄地域では、北栄地域福祉協議会は長く活動されており、サロンや高齢者だけでなく小学校や中学校ともつながっています。身近な相談場所となっている地域社協では相談内容から、買い物代行を進めるよう話が進んでいたが、コロナの影響もあり中断してしまいました。そのような中、移動販売車がこの地域に来ている情報を得て、現在は移動販売車が毎週来ています。

小泉地域では、地域力、地域福祉協議会が今年度立ち上がりました。コロナの影響で活動が遅れましたが、現在では、3 つの部会の活動が進んでいます。地域のニーズを把握するために、地域の方全戸配布でアンケートを行うことになりました。

会長

ありがとうございます。その他ご意見はございますか。

委員

資料 3 について、将来的に考えると、多治見市全域を網羅するのが理想です。養正地域などのように 1 校区に一団体のところは網羅できていると思いますが、自治区が表示されている地域では、校区でどの程度進行しているか分かりにしたいと思います。どこが調整済であるとか、まだ未調整なのかわかるほうが、将来を見通すことができると思います。

委員

地域福祉協議会が設立しているところでは、校区を網羅しており、地域の課題を話し合う場がありますが、地域福祉協議会が無い地域は、包括支援センターも、どこを対象にすると地域の課題を把握できるか迷っている状態です。2 年間かけて各種事業でボランティアを募ったり、人材育成を兼ねて協議体の設立を模索したりしていました。

昭和地域は区が複数あり、それぞれの区が活動しています。今年度の 9 区での活動予定では、区としての取組は現在無いですが、区長からの申し出があり、何か関わるできないかという点から今回進めたいと思っています。各地域で関わりながら、校区での機運が高まってきたら、それが将来的に一緒になって話し合う場が作れていけばと思っています。地域福祉協議会が無いところをどのように取り組んでいくかが課題で、こんな風にしてもらいたいよとかご意見いただければと思います

委員

生活支援コーディネーターが言われたことを、マップにすることにより、

区の現状が見えるかなと思います。

委員

昨年から、地域資源の見える化マップを作りました。今後、さらに情報をいただき、情報の更新もしたいと思っております。地域福祉協議会が来ていない校区も、1ヶ所だけでなく、それぞれの区にもアプローチしていくことも必要かと思います。

会長

他はよろしいでしょうか。

続いて「次第 6 多治見市介護に関するアンケート調査 調査結果について」を事務局から説明してください。

事務局

～アンケート調査結果について説明～

委員

私たちの団体への依頼も買物代行が増えてきました。コロナウイルスによる、新しい生活様式を取り入れて活動しています。以前までは、冷蔵庫などに無い商品を両方で確認して依頼を受けていましたが、現在は、必要なものを、チラシに記載してもらうことや、空きパックなどで商品の見本を確認しています。商品等の受け渡しは玄関で行っているが、冷蔵庫に入れてほしい方は、利用者を他の部屋に移動してもらい、ボランティアの方が冷蔵庫に入れ、利用者に報告しており、利用者と接触する時間を減らして活動しています。男性の利用者はたばこやお酒、女性では重たいもの（飲料をケースでの購入）を依頼されることも多いです。

見守り声かけなどでは、遠くに住んでいる方が、両親を覗いてほしいや、エアコンが付いているか、などの見守りの依頼もあります。当団体への依頼が増えてくる内容が一致しています。

身体介助が必要な方はヘルパーに、そうでない方は私たちでお役に立てればと思います。

委員

アンケートを見ながら、当団体でも依頼の増えている内容と一致していると認識しております。介護とか見守りなど、女性がメインとなる支援では、当団体も女性の会員が少なく、支援したくてもできない状態であります。そのため随時会員を募集しています。

地域活動への参加状況では収入のある仕事の方が、3割弱となっており、当団体に入っていて協力をいただければと思っております。

委員

説明にありましたように、介護人材はどんどん減ってきていて、ヘルパーについては担い手が不足している状態でございます。減ってきているがゆえに身体介護の方を中心に、生活援助の優先順位を後にしてしまっ

いるのが現状です。

生活援助の中でも調理にしてもちょっと支援をすれば本人もできる内容もあり、認知症状が少しありますが支援をすればできる方もいます。ヘルパーが関わることで、利用者の自立支援に繋がることもあります。できる限り可能な支援はと思っておりますが、難しい状況ではあります。見守り声かけのところでは、委員がおっしゃられたようにコロナの影響で遠方に見える御親族の方が来られなくて、どうしても安否の確認ができないかというところで、宅配弁当も、コロナ禍の中でかなりご利用される方が増えております。実際のところ、本人も外出しなくなってきており、体力も落ちて見えたりとか、いろんなことができなくなってきて、コロナになってからも、お客様が倒れられていたりとか、転んでけがされたりとか、意識を失っていたりとか配達の際に発見したりしたことが何件かあります。全部がサービスで賄うことは難しく、地域の力をお借りして、生活支援事業が整ってくると良いと思います。

会長

資料4の3枚目にある、地域の活動に参加したいと思っている方が結構増えてきている点と、1枚目にありますように生活支援についてサービスを願う中で地域社協の意見を伺いたいと思います。

委員

アンケートの中でも地域活動に参加したい方がある割には、人を募集してもそういうボランティアは断られているケースがある。

地域のゴミ出しを受けているが、近所の方は大変だねと言われるが、そのあとにボランティアをすとは言われない状態で、後継者が見つからないという点が課題となっています。

生活支援サービスは、コーディネーターの助言を受けながら、4項目に限って実施を始めました。一番多いのは、庭の手入れ（草刈り、枝切り）ですが、機材等の維持費が意外とかかりますが、収入が少なく、これからどうすればよいか悩んでおります。依頼が来れば来るほど赤字になってしまうと思うところがあるのが現状です。

委員

脇之島は事業活動を15実施しています。移送支援については、この地域には子供から大人までで6000人弱住んでおります。移送支援の利用は4000人を超えております。ボランティアとしての運転手等を含めまして、同じく延4000人くらいが支援しております。団体が実施している15事業でボランティア及び利用者も含め、昨年度で延13500人の方が何かに関わっています。運営委員等20名が頑張っていること、それを支えるボランティアが頑張っており、草刈りや剪定で250～60万円の収入を得ています。ただ、お金を儲けることが目的ではなく、それをどの

ように住民に還元していくかを考えています。

私は「ボランティアがする行動に対して、誰かが喜んでいただける。その姿を見て自分がうれしい。ボランティアは人の為でなく、自分のためにやるのだよ」という考え方にもとづいて運営をし、みんなに話しています。

委員

北栄としましては、生活支援というのは地域福祉協議会だけでは何もできない。自治会の協力なしではできないので、今後、自治会と連携しながら進めたいと思っている。

地域福祉協議会の活動としては、各団体と協力しながら、地域活性というものをやっております。昨年は買い物代行を立ち上げましたが、コロナのウイルスの影響で今止まっております。地域で買い物に行きたいという方と、一番希望が多かったのは移動販売でこちらに回れないかという話があったものですからそれを、企業にお願いして今実施しています。利用者は徐々に増えてきております。移送支援のように人を送るという事は、結構リスクが高く、移動販売がベストと思い、企業等の力を借りながら実施しております。

アンケート結果にありました、ボランティアで企画運営をやりたいという方の数字を見るとこんな数字が出ているのですが、どこにいるのかなという状況です。

私の住む地域では、社協が福祉委員を対象に見守り講座を行っていますが、そのあと、各町内会の会議で全地域の班長に見守り講座をしてもらっています。

委員

昨年 6 月に、高齢者のために何かをしなければと思い、支え合い会議で、草取りとゴミ出しをすることになりましたが、コロナウイルスの影響で会議ができなかった訳ですが、ゴミ出しを出してもらいたいという人は多くいたわけですが、ボランティアの募集を笠原の広報を通じて募集し、ゴミ出し支援をする人も数名見つかっています。

委員

アンケート結果にあった運営に携わりたい方が大変多いですが、私たちの地域でも運営に携われる人を増えるように頑張っていきます。

委員

今回のアンケートでいろんなことが浮かんできました、どうやってこういうことをやっていくか仕組みづくりが必要かと思いました。

委員

参考になりました。委員の意見の中で、買い物代行が出てきましたので、民生委員の定例会で買い物代行とか移動販売のことについて、詳しく聞きたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

会長	ありがとうございます。最後にその他になります。事務局よりお願いします。
事務局	本日皆様の多治見市認知症高齢者見守りシール交付事業のチラシを配布させていただきます。この事業は認知症などで行方不明になる可能性のある市内在住の高齢者に QR コード付きの見守りシールを交付する事業になります。7月20日から開始している事業になります。チラシの中央に実物大のシールが示してあります。アイロンで貼るもの、蓄光シールで杖とかに貼るものの2種類で、初期費用500円です。 委員の皆様をお願いしたいのは、シールを付けた方がみえたら QR コードを読み取っていただきたい。読み取ると、保護者の携帯に通知され、伝言板を通じて所在地等を伝えられます。個人情報のやり取りのないシステムであり、これを皆さんに知っていただくことと、多くの方がお知らせしていただくことが重要なことになってきますので、情報発信にご協力いただきたいと思います。よろしく願いいたします。詳細を聞きたい場合には、高齢福祉課までお問い合わせください。 次回の開催は11月ごろに開催させていただきたいと思います。住民主体によるサービスについて、検討していただきます。1月ほど前にご案内させていただきますので、よろしく願いいたします。
会長	ありがとうございます。本日の議題は以上となります。これで会議を終了いたします。ありがとうございます。